





Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年5月31日 朝刊 中部版

①記事の屋外演奏会は何と名づけられましたか。

## 新様式、で屋外演奏会

駿河区・グランシップ



ソーシャル・ディスタンスを保ちながら屋外演奏会を楽しむ来場者  
＝静岡市駿河区のグランシップ広場

あおぞらコンサート

②この演奏会では、新型コロナウイルス感染防止対策として、どのような工夫をしていますか。記事の中の関係するところに線を引きましょう。

### 距離保ち、親子ら楽しむ イベント再開 第一歩に

県文化財団などは30日、静岡市駿河区のグランシップ広場で屋外音楽演奏会「あおぞらコンサート」を開いた。新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した「新しい様式」で初めて開催し、多くの親子連れが生演奏を楽しんだ。同財団では緊急事態宣言の解除を受けてイベント活動を段階的に再開していく方針で、その第一歩になった。

グランシップ前の芝生広場にピアノを持ち込んだ上で、集まった親子連れらが家族ごとにソーシャル・ディスタンス（社会的距離）を確保できるように、芝生の上には2メートル間隔で円形のカーペットを敷いた。来場者には検温を実施し、マスク着用やアルコール消毒も呼び掛けた。

奏者はフルートが島田市の大川美南さん、ピアノが吉田町の田中亜希子さんで、ともにコロナ禍での演奏会は初めて。アンパンマンのマーチやパプリカなど子どもに親しみのあ

る軽快でリズムカルな6曲を披露した。強風で楽譜が飛ばされるハプニングもあったが、子どもたちは体を動かしたり手拍子をしたりして笑顔で楽しんだ。大川さんは「屋外なので楽器の扱いに気を使ったが、開放的な空間で多くの人に楽しんでもらえて良かった」と感想を語った。

同日の演奏会は計2回開催し、約200人が来場した。同財団ではグランシップのイベントを2月末から中止していた。高木利夫専務理事は「最初は屋内よりも屋外の方が来場者に安心してもらえると考えた。これをきっかけに活動の幅を徐々に広げていきたい」としている。

（政治部・大橋弘典）

上段 3行目「集まった親子連れ～アルコール消毒も呼び掛けた。」に線を引く。

③この演奏会に来場した人たちはどのような感想を持ったと思いますか。記事を参考に30字以内で書きましょう。

(例)

開放的な空間なので、安心して演奏を楽しむことができた。(27字)  
子どもたちが体を動かしたり、手拍子をしたりして楽しめた。(28字) など

④記事のような「新様式」は、音楽演奏会のほか、どのような場合に行うようになりそうですか。

(例) スポーツ観戦、演劇鑑賞、映画鑑賞、講演会 など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／保健体育、総合)